

CONNECTION つながる×子育て

子育てに必要な情報が得られる！ 子連れでもゆっくりご飯が食べられる！
そこで出会った人とつながることができるスポットがあります。

狭山市で大活躍しているシルバー世代は子育ての先輩です。気軽に相談できる先輩をもって、地域と人をつながって、みんなで子育てしていきませんか。



狭山元気プラザ

狭山元気プラザは、旧狭山台北小学校の跡利用として平成24年に開設しました。プラザ内には「さやま市民大学」「地域交流室(遊戯室)」などがあり、若者から高齢者まで、さまざまな世代が集い、学び、交流・活動する拠点として活用されています。

さやま市民大学は、子育てしやすいまちづくりの実現に向け、子育て世代を対象にした保育付きの支援講座に開校以来取り組んでおり、多くの人材を輩出しています。

その為、子育て世代にとって知りたい情報が得られるだけでなく、保育付きなので安心して受講できます。平日は「コミュニティカフェ」で食事することもできます。コミュニティカフェとは、食事をするだけではなく、地域の方が食事やお茶をいただきながら交流し、居心地のよい「居場所づくり」を目的とするもので、子育て世代にもぜひ利用していただきたい場所となっています。

Information:04-2968-6885 開館時間:月～土 AM9:00～PM22:00 ただし(月)(土)は17:00まで



つな×つな さやま

ワールドカフェという手法を用いて、短い時間でもたくさんの人の想いや考えを聴ける・話せるイベントです。

当日発表されるテーマについて聴き合い・話し合いながら過ごします。事前にテーマを発表しないのは、その日その回で集まってくれた人の本音を聴き合いたいから、熱い想いを持った人だけが熱く語る事が無いようにしたいから。

つな×つなさやまは、課題解決の為の方法を見つけなければいけない!とか必ず答えを導き出さなければ!という事ではなく、言葉に出してみて気づく想いがあることや、相手の話しの中に自分の答えがあること等を体験する場です。お子様見守り隊(つなつなメンバー&参加者)による同室保育があるため、安心してご参加いただけます。



Information:スリーエス事務局 Mail sayama-3s@pc.707.to Facebook「つな×つな さやま」で検索
開催時期 2か月に1度 主に中央公民館にて



SSVC 狭山市学校支援ボランティアセンター

開かれた学校づくりを進め、地域の教育力を生かした学校への支援を進めることで、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、平成19年に開設されました。授業のお手伝いをする学習支援や、花壇整備や安全見守りなどの環境支援、図書ボランティア、部活動支援など、さまざまな支援分野があり、市立小・中学校で地域の方々やさやま市民大学の修了生を中心に、さまざまな分野で、子どもたちが安全で楽しい学校生活を送れるように支援しています。

Information:04-2927-1395

出会いから生まれたNPO さやま保育サポートの会

長い人生を振り返ってみると、その折その折に人との出会いが人生の歩みある方向へ導いていることに気づきます。ここ10余年取り組んでいるNPO法人さやまサポートの会(2005年設立)も、予期しない流れの中で生みだされました。諏訪が実習生訪問で新狭山保育所を訪ねなければ、保育研究会の活動も、NPOも生まれなかったかもしれません。

そしてNPOの多彩な活動は、ふたりの退職後の人生に豊かな彩りと生きがいを与えてくれています。駆け込み寺として始めたよつばのおうちを拠点に、子育てプレイス奥富、奥富・柏原小・新狭山小・御狩場小学童の運営、家庭訪問型支援事業等多様な子育て支援を展開しており、支援に当たるスタッフの熱意に支えられています。さらに市民大学で実施しているババママ講座(乳幼児期・学童期)では、すでに百数十名の受講生を輩出しており、年ごとに新しい分野で活躍する女性が増え、子育て支援のネットワークが広がっています。NPOの活動が子育て中のお母さんたちの出会いを広げ、前向きに生きる日々の創生をお手伝い出来たら・・・と願って活動をしています。



諏訪きぬ先生プロフィール
神戸市で生まれ疎開先の名古屋で育つ。狭山の保育研究会で一緒にした佐藤さんと明星大学在職中の2005年NPO法人さやま保育サポートの会を設立。以来代表理事。



佐藤洋子先生のプロフィール
練馬区立保育園保育士を経て、狭山市に移った。定年退職後NPO法人さやま保育サポートの会・よつばのおうち初代園長。現在は理事の他、出張保育士等も担当している。

子育ては、家庭と学校と地域の三位一体で愛を注ぐもの —学習支援教室ジョイスタディー—

退職前の4か月間崩壊クラスの担任をさせていただき、「子どもは変わる」「ダメな子はいない」と思えるようになりました。

未来を担う子どもたちの限りない可能性を信じて、退職後に、学習支援教室ジョイスタディーを立ち上げました。子育ては、家庭と学校と地域の三位一体で愛を注ぐものだと思います。大事なことは、子どものどこかに隠れているやる気スイッチをオンにすること。そのためには、自己肯定感を育てること。「あなたはかけがえのない大事な子」というメッセージを送り続ける大人でありたいです。



大澤和子先生プロフィール
ひとりひとりに寄り添う学習支援教室「ジョイスタディー」代表。狭山市民大学ババママのお助け隊養成講座の他、教員や保護者、学童保育指導者等に向けての講師を務める。小学生の二人の孫と三世代同居中。

明日が楽しみになる今日へー児童発達支援センターあんずー

子どもの身体や言葉、遊びの育ちに心配があるとき、「どこかに相談したいな」と思ったとき、狭山にはいくつもの相談できる場所があります。育ちに配慮が必要な子、支援が必要な子、ひとり一人に合った関わりができる場所もあります。そして子ども達を取り巻く、いろいろな機関がつながりあっています。ご家族と一緒に子どもの育ちを見守り関わり、「明日が楽しみになる今日」になるように、そう思い続け、たくさんの子ども達やご家族と一緒に走り続けてきました。初めて相談するときって、ちょっと勇気がいると思います。ドキドキして電話をかけてくださった気持ちを100%受け止めながら、その子、そのご家族に合わせた「いいかげん」を見つけられるよう努めています。

そこから新たに何が始まり、広がり、微笑みが増えていく。私が今いる「児童発達支援センターあんず」は…そんなところなんです。もう、どこかでお会いしているかもしれませんね。



柳澤健一先生プロフィール
社会福祉法人みのり福祉会、児童発達支援センターあんずセンター長。支援や配慮が必要な就学前の子どもと保護者への支援、相談に長年携わる。現在は、放課後等デイサービスの運営、地域の幼稚園(保育所)、学校、他の福祉サービス等とのつながり作りにも日々奮闘中。さやま市民大学「ババママお助け隊養成講座」の講師も務める。